

南寿会・創立40周年記念特集号(年表)

会長 桜井嘉美
 広報：菅原・櫻井(春)

【南寿会：20年の歩み(昭和51年4月～平成8年3月)記念紙(妙出)】

- 昭和46年4月 小島地区からJR高崎線の南地区が分離独立して小島南自治会(現小島南自治会)が仮設立され、初代区長として木村廣二氏(現南寿会相談役)が就任する。
- 昭和48年4月 小島南自治会が完全独立した。それに伴い地域住民の連帯と団結を図る一環として、老人パワーを結集する話が持ち上がり原菊三氏(南寿会第2代目会長)方々が各家庭を訪問し老人会の設立準備活動始める。
-
- 昭和51年4月 老人会(南寿会)の設立準備委員会を立上げる。会名称・会則案・役員候補・設立総会等の準備を行ない、60歳以上の方を対象にした会員の勧誘活動を開始する。
- 昭和51年5月 初代会長 田島一郎氏(平成7年8月没)が就任し「南寿会(総会員数77人)」が発足する。なお、福祉会館で「発会式」を執り行い衆・参国會議員・県議・市長等の来賓多数を迎え祝辞を頂く。また、祝宴では講談・落語師匠の熱演等で盛大で豪華な創立総会を開催する。 [会員推移(年度=男・女・計人)]・
 昭和51=31・46・77、53=32・50・82、57=27・57・84、61=34・63・97、平成1=28・58・86、3=25・60・85、7=25・57・82。
- 昭和51年春月 旭老連主催の「高齢者学級」が旭・西公民館で開催(年5～6回)され毎回数名方が出席し現在に至る。
- 昭和51年秋月 親睦旅行を猿ヶ京温泉で初めて開始する。春は南寿会のみ、秋は旭老連との合同で旅行を行う。
- 昭和52年1月 旭老連主催(西公民館)の葉ボタン(旭老連から配布された苗を育てたもの)展示会に初めて出品する。以後8月の朝顔展示会にも毎回出品するようになった。
- 昭和52年4月 学童の通学区域が「西小」から「南小」に替わる。
- 昭和53年6月 小島南3丁目の空地で初めてのゲートボール練習を行ない、その後各種大会に参加して優秀な成績を収める。以後ブームにもなり愛好する会員は25名を超える。また、審判員資格等を取得してレベルアップを図る。
- 昭和55年2月 小島南自治会館(総工費2,000万円)が全て寄付金で完成する。以後は当南寿会の活動拠点とする。
- 昭和55年6月 旭地区老人クラブ連合会のゲートボール大会に出場し、初めて優勝する。
- 昭和56年4月 当自治会が発案して開始した「新生活運動(市内でも先鋭的に実践している町内です)」がスタートする。
- 昭和56年7月 本庄市老人クラブ連合会ゲートボール大会に出場し優勝する。
- 昭和56年11月 埼玉県老人クラブ連合会ゲートボール大会に出場し敢闘賞を受賞する。
- 昭和59年10月 第1回「会員物故者慰霊祭(参加者36名)」を執り行う。南寿会創立以来30名の方が亡くなった事を期に、自治会館に祭壇を設け「物故者名簿」を添え長松寺住職の読経で御冥福をお祈りした。また、清めの席を設けて故人を偲ぶ会を開催する(ご協力さいたまセレモニー様)。
-
- 昭和61年4月 南寿会「創立10周年記念」を定期総会で祝う。
- 昭和61年8月 沖電気本庄工場の納涼祭に招待され参加する(昭和63年にも招待される)。
- 平成1年5月 小島南婦人会の食事会(参加者36名)にご招待され、心温まる手作り料理のもてなしを受ける。
- 平成2年4月 原菊三氏(平成15年4月没)が第2代目会長に就任し、田島一郎氏(会長職在籍14年間)は顧問となる。
- 平成6年春月 旭老連主催の「体験学習」で、さつまいも作りを延べ15名の方が参加して小島地区内で始める。
- 平成6年6月 春の研修旅行(2泊3日)を「伊香保温泉」で行う。
- 平成6年 月 引出し等で眠って小銭(1円玉・5円玉、計11,518円)を抛出して頂き、本庄市地域福祉基金に寄贈する。
- 平成7年1月 阪神淡路大震災(1月17日)が発生し、死者・不明者合せて6,437名(現在)の方が犠牲になる。会員皆様方の浄財(42,035円)を見舞金として、本庄市役所に寄託する。
- 平成7年1月 新年会を大勢の参加者(56名)を頂いて開催する。
- 平成7年2月 南小学校の「昔の遊び(竹馬・ビー玉・あやとり・竹とんぼ等)」に講師として参加するようになった。
- 平成7年4月 柳三郎氏(平成12年1月没)が第3代会長に就任し、原菊三氏(会長職在籍5年間)は顧問となる。
- 平成7年6月 春の研修旅行(2泊3日)を「猿ヶ京温泉(参加30名)」で行う。
- 平成8年1月 新年会(参加者45名)を行う。
- 平成8年3月 南寿会「20年の歩み(副題：老人クラブ活動20年の記録)」を記念編集して祝う(4月1日付けで発行する)。

【南寿会：その後の20年の歩み(平成8年4月～平成28年3月)】

- 平成8年4月 柳三郎氏が会長職を継続して「その後の新たな歩み」を始める。 [会員推移(年度=男・女・計人)]・
 平成8=78、9=75、10=71、11=89、12=82、13=80、14=22・61・83、15=78、16=73、17=75。
- 平成8年5月 春の研修旅行(参加24名)を行う。
- 平成8年9月 第10回日の「物故者(元会員70名)の合同慰霊祭」を、来賓含め36名の方が参加し執り行う。
- 平成8年11月 旭連合会の研修旅行に参加(参加者19名)する。

- 平成9年1月 新年会を福祉会館(参加者41名)で行う。
- 平成9年6月 春の研修旅行(参加25名)を行う。
- 平成10年4月 **竹内清四郎氏**が第4代目会長に就任し、柳三郎氏(会長職在籍3年間)は顧問となる。
- 平成11年11月 県外一泊研修会を「湯沢温泉(参加者20名)」で行う。
- 平成12年10月 県外一泊研修会を「四万温泉」で行う。
- 平成12年9月 奉仕活動月間で自治会館内外周の清掃作業を行う。
- 平成13年1月 新年会(参加者34名)を行う。
- 平成13年3月 ゲートボール場(ふれあい公園)の整備事業を行う。
- 平成14年10月 県外一泊研修会を「日光」で行う。
- 平成15年10月 県外一泊研修会を行う。
- 平成16年10月 県外一泊研修会を「草津温泉(参加者24名)」で行う。
- 平成17年10月 県外一泊研修会「湯田中温泉(ホテル豊生)」を参加者20名で行う。

- 平成18年4月 南寿会「創立30周年記念」を定期総会で祝う。[会員推移(年度=男・女・計人)]・平成18=71、19=22・53・75、20=31・42・73、21=39・48・87、22=44・56・100、23=46・55・101、24=53・51・104、25=53・55・108・26=54・67・121、27=64・71・135。
- 平成18年9月 第20回目の「物故者(元会員100名)の合同慰霊祭」を、来賓含め27名の方が参加して執り行う。。
- 平成18年10月 県外一泊研修会を「伊豆長岡温泉(参加者19名)」で行う。
- 平成19年5月 本庄市ゲートボール大会(市民グラウンド)で南寿会が優勝する。
- 平成19年10月 日帰り研修会を「かんなの湯(参加者13名)」で行う。
- 平成20年4月 **並木賢太郎氏**が第5代目会長に就任し、竹内清四郎氏(会長職在籍10年間)は顧問となる。
- 平成20年5月 介護予防活動団体「鬼石モデル式 ”筋力トレーニング”」を立上げ本庄市に申請登録し活動を開始する。
- 平成20年11月 県外一泊研修会を「元湯川治温泉(らんりょう)・参加者25名」で行う。
- 平成21年1月 新年会を「かんなの湯(参加者25名)」で行う。
- 平成21年1月 市老連会報(第3号)に「健康管理レポート いまこそ”筋力トレ”で鍛えよう!」を寄稿し掲載される。
- 平成21年3月 カラオケ「楽しむ会」を愛好者で立上げ、毎週1回有償(どんぐり)で開催する。
- 平成21年6月 日帰り研修会を「老神温泉 湯本華亭(参加者28名)」で行う。
- 平成21年11月 県外一泊研修会を「飯坂温泉(福住旅館)・参加者25名」で行う。
- 平成22年1月 新年会を「かんなの湯(参加者28名)」で行う。
- 平成22年6月 日帰り研修会を「上高地〜カップ橋散策(参加者34名)」で行う。
- 平成22年8月 体験学習「第1回 そば打ち教室(参加者15名)」を学校給食センターで講師(まごころ蕎麦塾)の指導を受けながら実習する。
- 平成22年11月 県外一泊研修会を「天津小湊温泉(ホテル吉夢)参加者23名」で行う。
- 平成23年1月 新年会を「かんなの湯(参加者30名)」で行う。
- 平成23年3月 東日本大震災(3.11)が発生し、死者(15,893人)・不明者(2,553人)合せて18,446名(現在)の方が犠牲になる。
- 平成23年6月 日帰り研修会を「江ノ島と紫陽花の鎌倉(参加者35名)」で行う。
- 平成23年11月 県外一泊研修会を「石和温泉(ホテルふじ)・参加者24名」で行う。
- 平成24年1月 新年会を「かんなの湯(参加者29名)」で行う。
- 平成24年2月 工場見学会を開始し「沖電気本庄工場を参加者12名で見学する。
- 平成24年4月 公式ワナゲ競技(用具一式取揃えのうえ)の練習を自治会館で開始する。
- 平成24年4月 西公民館で開講した旭老連高齢者学級(当会参加者9名)で初めての「公式ワナゲ競技大会」を行う。
- 平成24年6月 日帰り研修会を「器の競演と大洗海鮮に舌鼓(参加者42名)」で行う。
- 平成24年7月 本庄市自治会連合会が、小島南自治会を含む市内85自治会の「今昔郷土集」を刊行する。
- 平成24年8月 市老連主催の第7回ゲートボール大会が万年寺下公園で開催され、南寿会チームが優勝する(市老連会報第10号参照)。
- 平成24年10月 彩の国シルバースポーツ大会(熊谷スポーツ公園)のゲートボールの部で、第3位に入賞する(県老連だより No98号参照)。
- 平成24年11月 県外一泊研修会「草津温泉(ホテル櫻井)参加者25名」で行う。
- 平成25年1月 新年会を「かんなの湯(参加者36名)」で行う。
- 平成25年4月 **櫻井嘉美氏**が第6代目会長に就任し、並木賢太郎氏(会長職在籍5年間)は顧問となる。
- 平成25年4月 南寿会会則の全面書替え(役員並びに会務の明文化を図る)のうえ新規制定する。
- 平成25年5月 南寿会の活動状況等を細報することを目的に「いきいき会報」を創刊する。
- 平成25年5月 日帰り研修会を「松本・霧ヶ峰・白樺湖(参加者47名)」で行う。さいたまメモー様から誘導用小旗「小島南」2張り寄贈して頂く。
- 平成25年7月 市老連主催の「第1回ワナゲ大会」がシルクドーム(参加者10名)で開催され、3名の方が上位入賞する。
- 平成25年7月 体験学習「第2回そば打ち教室(参加者23名)」を学校給食センターで講師(まごころ蕎麦塾)の指導を受けながら実習する。

